

2023 年度 事業報告書

<目 次>

2023 年度事業報告及び決算報告	・・・	1
Ⅰ 組織運営	・・・	1
Ⅱ 事業運営	・・・	5
Ⅲ 決算報告	・・・	45

2023 年度事業報告及び決算報告

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

I 組織運営

1. 組織体制

(1) 会 員

正 会 員：70（個人・NPO：69、行政・企業：1）

協力会員：59（個人・NPO：57、行政・企業：2）

※2023 年 3 月末時点

(2) 事務局・職員

【職員数】

39 名（職員：6 名、契約職員：12 名、パートタイム職員：21 名）

【事務局運営スタッフ】

NO	氏 名	勤務形態	役 職	役 割
1	松原 裕樹	職員	専務理事、事務局長	事務局統括責任者、業務運営責任者
2	山本 祐二	職員	常務理事、総務部長	総務部門責任者、業務運営責任者
3	松村 渉	職員	事業部長、プロジェクトマネージャー	事業部門責任者、業務運営責任者
4	増田 勇希	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	香川 恭子	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者

【業務運営スタッフ】

NO	事業名	事業所	スタッフ数
1	令和 5 年度中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく) 管理運営等業務	広島市	職員：1 名、契約職員：2 名
2	JICA 中国 開発教育支援事業	広島市	契約職員：4 名
3	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（中区、南区）	広島市	契約職員：1 名、パートタイム職員：21 名（うち新雇

			用：1名)
4	福山市まちづくりサポートセンター運営業務	福山市	契約職員：5名（うち新雇用：1名)

(3) 役員

【役員数】

15名（理事：13名、監事：2名）

【役員名簿】

役職	氏名	所属	区分
代表理事	安藤 周治	特定非営利活動法人ひろしまね 理事長	県北部
	中村 隆行	広島経済大学 スポーツ経営学科 准教授、興動館プロジェクトセンター長	NPO
副代表理事	三好 久美子	公益財団法人青少年育成広島県民会議 監事	県東部
	山本 一隆	社会福祉法人中国新聞社会事業団 理事長	県西部
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 事務局長	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	香川 恭子	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 理事	NPO
	茶山 ちえ子	特定非営利活動法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長	NPO
	平尾 順平	特定非営利活動法人ひろしまジン大学 代表理事	NPO
	遠山 勇希 松村 渉	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO NPO
監事	久笠 信雄	弁護士	
	赤羽 克秀	公認会計士・税理士	

2. 通常総会の開催

(1) 第 25 回通常総会

日 時	令和 5 年 6 月 17 日 (土) 10:00~12:00
場 所	アドバン・ビジネスカレッジ (広島市中区中町 7-41 広島三栄ビル 6 階) オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催
出席者	正会員
議 題	1) 2022 年度事業報告及び決算報告 (案) 2) 2023 年度事業計画及び活動予算 (案)

3. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

日 時	令和 5 年 5 月 30 日 (火) 16:00~17:30
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催
議 題	1) 2022 年度事業報告及び決算報告 2) 2023 年度事業計画及び活動予算 3) 理事会及び組織運営の進め方 4) その他

(2) 第 2 回理事会

日 時	令和 5 年 9 月 28 日 (木) 16:00~17:30
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催
議 題	1) 2023 年度事業計画及び活動予算の進捗報告 2) 重点事業 ①2023 年 G7 広島サミットに向けたプロジェクト ②NPO 法施行 25 周年を契機としたガバナンス強化キャンペーン ③ひろしま NPO センター組織基盤形成 3) 組織運営 ①ガバナンス・コンプライアンス (相談窓口・内部通報制度、働きやすさアンケート)

	②子育て支援部門 4) その他
--	--------------------

(3) 第3回理事会

日 時	令和5年12月26日(金) 16:00~18:00
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催
議 題	1) 2023年度事業計画の進捗報告及び決算見込み 2) 子育て支援部門の事業計画 3) 組織運営 ①組織体制及び役員改選 ②プロマネのあり方 ③活動予算のあり方 ④労務 ⑤経理 ⑥今後の検討事項 4) その他

(4) 第4回理事会

日 時	令和6年3月22日(金) 16:00~17:30
場 所	ひろしま NPO センター事務所 オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催
議 題	1) 2023年度事業計画の報告及び決算見込み 2) 子育て支援部門の進捗報告 3) 組織運営 ①休職等の職員への対応 ②不祥事への対応 ③組織体制及び役員改選 ④プロマネ・三役のあり方 ⑤活動予算のあり方 ⑥規定類の策定・改定 ⑦新年度の予定 ⑧今後の検討事項 3) その他

4. その他

(1) Hiroshima Future Party 2022

- 【目的】ひろしま NPO センター設立記念日に正会員・理事・職員・スタッフが集い、取組事例の成果や課題及び最新情報の共有、意見交流等を行うことを通して広島や組織の未来を語り合い中長期ビジョンに活かしていく事を目的とする。
- 【目標】○組織を構成するみんながお互いを知りあう
○情報格差がなくなる（情報共有）
○明日からのモチベーションが高まる（一員としての誇りを持てるように）
- 【日時】2023 年 11 月 1 日（水）昼前後
- 【場所】広島市内
- 【参加者】37 名（正会員：3 名、役員：2 名、事務局：6 名、子育て：21 名、JICA：1 名、EPO：2 名、福山市まちサポ：2 名）
- 【内容】○ひろしま NPO センターの紹介（組織・事業概要、中長期ビジョン・計画）
○各部門の事業・スタッフ紹介
○交流タイム（歓談、テーマ型ぺちやくちやタイム）



(2) 税理士顧問契約

2022 年度まで決算等の経理を委託していた税理士法人サクシーズ（オフィスハタヤマ）が 2023 年春に税理士法人ゆびすい広島支店に統合されたため、2023 年度からは税理士法人ゆびすいに決算等業務を委託すると共に、先行決算（12 月締め）や日頃の相談に対応していただくための顧問契約を締結した。

II 事業運営

1. 重点事業の実施内容

(1) 2023 年 G7 広島サミットに向けたプロジェクト



2023 年 5 月に広島で開催される G7 サミット首脳会合に向けて、G7 市民社会コアリション 2023 や Civil7 等の国内外の市民社会組織や関係機関と連携し、政策提言やみんなの市民サミット 2023 の開催、市民の平和宣言 2023、国内外への発信等を行い、核のない誰ひとり取り残さない持続可能な社会づくりを推進した。

① G7 市民社会コアリション 2023

G7 のエンゲージメント・グループのひとつである Civil7（市民社会）の運営及び政策提言等を行うための組織として、全国の NPO/NGO が結集したネットワーク組織「G7 市民社会コアリション 2023」を設立し、松原が共同代表を務めた。

□組織概要

【目的】2023 年に日本で開催される G7 サミット首脳会議および関連閣僚会議に、市民社会の声が反映され、2030 アジェンダが掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現に貢献できるよう、議長国である日本政府を含む G7 各国政府に働きかけることを活動目的とする。

【共同代表】木内真理子（特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長）
松原裕樹（特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター 専務理事・事務局長）

【幹事団体】14 団体

【共同事務局】特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）
一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク

【会員数】団体会員：122 団体 個人会員：78 名

※2023 年 4 月 28 日時点、ひろしま NPO センター含む

【活動期間】2022 年 5 月 10 日～2023 年 12 月 31 日

【活動内容】1) 日本国内外の市民社会と協力した G7 関連会合に対する政策提言
2) 日本政府との面会およびサミット関連の情報収集
3) 他のエンゲージメント・グループとの連携構築
4) グローバルな市民社会が開催する「C7 サミット」への協力
5) 首脳会合開催地の市民社会との連携および「市民社会サミット」の開催
6) 市民社会による活動の広報や啓発キャンペーン

7) その他、目的に資する活動

【備考】▼G7 市民社会コアリション 2023 Web サイト

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/#home>

▼G7 市民社会コアリション 2023 報告書

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/231221-report>

□活動概要

毎週の事務局会議及び毎月の幹事会を開催する共に、会員募集や情報発信、ドイツ C7 からの引き継ぎ、外務省 G7 シェルパとの会合、C7 の運営委員会やワーキンググループの検討・運営、全国の閣僚会合開催地 CSO との情報交換会、政策提言書の首相手交の調整、C7 サミットの開催準備等を進めた。

また、2023 年 12 月 15 日（金）に東京で G7 市民社会コアリション 2023 総会&オープンフォーラム+みんなの市民サミット振り返り会議を開催し、後継組織や C7 イタリア 2024 に向けた活動が提起した。



②Civil7

G7 への政策提言書を作成するために、「核兵器廃絶」「気候・環境正義」「公正な経済への移行」「国際保健」「人道支援と紛争」「しなやかで開かれた社会」の 6 つのワーキンググループを構成し、72 ヶ国（うち 54 か国はグローバルサウス）から 700 名以上が参加し議論した。



▼Civil7 Communique 2023（英語版）

https://civil7.org/wpC7/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique2023_0412.pdf

▼Civil7 政策提言書 2023（日本語版）

https://civil7.org/wpC7/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique_JPN.pdf

2023年4月12日（水）に、C7を代表して日本及び各国の市民社会代表者10名（広島から松原裕樹（ひろしま NPO センター）と田中聡司（広島被爆者団体連絡会議）が代表して参列）が首相官邸を訪問し、G7広島サミットで議長を務める岸田文雄内閣総理大臣と対話し、「C7 Communique 2023（C7 コミュニケ 2023：政策提言書）」を手交した。

2023年4月13日（木）～14日（金）に東京プリンスホテル及びオンラインで「Civil 7 Summit 2023」を開催し、山田賢司外務副大臣へのC7政策提言書の手交、G7サブシェルパを務める中村和彦外務省経済局審議官との対話、分野別ワーキンググループ分科会、エンゲージメントグループの連携対話、レセプション等を実施した。



広島で開催された首脳会合の期間中を含む5月18日（木）～21日（日）に、外務省と連携して広島市青少年センターにNGOスペースを設置し、国内外から広島に集まったマスメディアに対して、全国のNGO/NPOが50を超える記者会見やイベント、パフォーマンス等を開催し、市民社会のメッセージを世界に発信した。



③みんなの市民サミット 2023

首脳会合が開催される広島において、市民社会がこの機会をどのように活かすことができるか、呼びかけ人と共にNPO/NGOや関係団体が集い、市民サミットの企画・開催に向けて活動した。

□みんなの市民サミット 2023 実行委員会

2023年4月15日（土）～17日（月）に広島国際会議場をメイン会場として、「みんなの市民サミット 2023」を開催し、G7サミットの主要議題に係るグローバルとローカルの問題に対するNPO/NGOの取組の情報交流や学び合い、市民が参加しやすいイベントや情報発信等を実施するため、県内外の市民社会組織や個人等から実行委員会を設立し、開催のための準備や振り返り等を実施した。

【共同代表】渡部朋子（特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 理事長）

松原裕樹（特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 専務理事・事務局長）

金羽木百合枝（視覚障害者団体 Blind クリエイター【お好みーズ】）

- 【幹事団体】①特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima／渡部朋子
 ②特定非営利活動法人環境パートナーひろしま／河野宏樹
 ③特定非営利活動法人ひろしまジン大学／平尾順平
 ④Social Book Cafe ハチドリ舎／安彦恵里香
 ⑤特定非営利活動法人ひろしま NPO センター／松原裕樹
 ⑥視覚障害者団体 Blind クリエイター【お好みーズ】／金羽木百合枝
 ⑦広島 G7 芸術文化コンソーシアム／積山ミサ
 ⑧特定非営利活動法人市民活動センター西日本／胡田倫宏
 ⑨RiverDo!基町川辺コンソーシアム／岡本泰志
 ⑩平和創造クラブ「ひまわり」／伊藤さえみ
 ⑪広島被爆者団体連絡会議／田中聰司
 ⑫核政策を知りたい広島若者有権者の会／高橋悠太
 ⑬特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会／小松豊明

【監 事】特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会

【事 務 局】特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

【賛同会員】団体・法人：44 団体、個人：29 名

【実施内容】4月4日（火） 第2回幹事会

4月7日（金） 第3回実行委員会&記者会見

4月16日（日）・17日（月） みんなの市民サミット 2023

6月3日（土） 関連イベント

6月14日（水） 第3回幹事会

7月7日（金） 第4回実行委員会

7月18日（火） 市民サミット振り返り報告会&NN ネット第1回 SR セミナー

8月6日（日） 市民の平和宣言 2023&記者会見

11月28日（火） 第4回幹事会

3月29日（金） 第5回実行委員会

□みんなの市民サミット 2023 の開催概要

【名 称】みんなの市民サミット 2023～G7 広島サミットに市民の声を届ける～

【目 的】2023年に開催される G7 広島サミットを契機に、「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会」を私たちの手で創ることを目的として、国内外の市民社会組織等が広島に集い、G7 サミットや社会課題に対する理解、市民の参加、NPO/NGO 等のアクション、ステークホルダーとの連携、政府への提言等を促すと共に「みんなの市民サミット 2023」を開催する。

【開 催 日】2023年4月16日（日）～17日（月）

【場 所】広島国際会議場（広島県広島市中区中島町 1-5）及び周辺施設（平和記念公園等）

※プログラムの一部はオンライン配信によるハイブリット開催。

- 【参加者】2日間で延べ700名
- 【主催】みんなの市民サミット2023実行委員会
- 【共催】G7 市民社会コアリション 2023、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、中国環境パートナーシップオフィス、中国地方 ESD 活動支援センター
- 【後援】外務省、内閣府、広島サミット県民会議、広島県、広島市
- 【来賓】広島県知事：湯崎英彦様
 広島市長：松井一實様
 外務省：日下部英紀様（国際協力審議官）、国際協力局民間援助連携室
 広島サミット県民会議：村上慎一郎（事務局長）
 広島県：杉山亮一様（地域政策局長）新宅郁子様（環境県民局長）
 広島市：阪谷幸春様（市民局長）
- 【備考】▼みんなの市民サミット2023 Web サイト

<https://hiroshimacsummit2023.mystrikingly.com/>

- 【実施内容】C7 サミットの活動報告やアーティストによる演奏、高校生による活動発表、17のテーマで分科会（核廃絶、気候変動、紛争、子育て、ユース、防災など）等を実施した。2日間で延べ700名を超える市民が国内外から参加し、G7 サミットや社会課題について立場や分野を横断した学びあいを行い、C7 政策提言書の後押し（核廃絶に関する広島からの声）に繋げつと共に、共同声明として「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会づくりを私たちの手で創る」を発信した。



③取材報道記事



取りまとめた宣言案を閉幕行事で掲げる参加者たち

市民サミットは、市民が自らから核廃絶の声を上げ、国際情勢や地域の課題を学び合った。閉幕行事では各分科会の議論を踏まえ、実行委員の共同代表であるNPO法人ひろしまNPOセンター（中区）の松原幹事長が、長たが「弱き立場の人と共に生き、安心・安全な社会をつくり続ける」などの内容を盛り込んだ共同宣言案を発表した。来春までに宣言を完成させ、市民の声として岸田文相に提出し、共同代表の一人NPO法人ANA Hiroshima 中区の渡部千恵子理事長は「



核のない社会を共に

みんなの市民サミット宣言案

広島で閉幕 10カ国超700人参加

広島市で5月18日～21日、先陣「カ国首脳会議（G7サミット）」を前に、広島内外の市民団体が集った「みんなの市民サミット」が19日、中区の広島国際会議場で口頭のプロローグを開いた。市民が自らから核廃絶の声を上げ、国際情勢や地域の課題を学び合った。閉幕行事では各分科会の議論を踏まえ、実行委員の共同代表であるNPO法人ひろしまNPOセンター（中区）の松原幹事長が、長たが「弱き立場の人と共に生き、安心・安全な社会をつくり続ける」などの内容を盛り込んだ共同宣言案を発表した。来春までに宣言を完成させ、市民の声として岸田文相に提出し、共同代表の一人NPO法人ANA Hiroshima 中区の渡部千恵子理事長は「

ロハルな問題をローカルな問題がつかないことが多く、今回、議論したことを世界を変える力にしたいと述べた。

2023年4月18日中国新聞

※新聞・テレビ・Web・SNS等の50を超えるメディアに掲載。



2023年5月27日中国新聞

(2) NPO 法施行 25 周年を契機としたガバナンス強化キャンペーン



1998年のNPO法施行から25周年（四半世紀）を迎えるタイミングと、今年度から制度開始する「インボイス制度」「電子帳簿保存法」「NPO法人電子報告システム」などをふまえて、改めてNPO法人のガバナンスを見直すと共に、強化のための支援や支え合いのための普及啓発・セミナー等を実施した。

①少人数でじっくり学ぶ勉強会

【行 事 名】少人数でじっくり学ぶ勉強会～NPO 法人に求められる基本的な力～

【目 的】NPO 法施行 25 周年の節目として、NPO 法人に求められる基本的な力を見つめ直すと共に、信頼できる NPO 法人としての「ガバナンス・コンプライアンス」「会計」「労務」の組織力を身につけることを目的とする。

【実施概要】＜第 1 回＞

日 時：2023 年 9 月 26 日（火）17:00～19:00

テーマ：NPO のガバナンスとコンプライアンス

- 講師：山田泰久（公益財団法人日本非営利組織評価センター（JCNE） 業務執行理事）
- 参加者：6 団体
- <第 2 回>
- 日時：2023 年 10 月 16 日（月）17:00～19:00
- テーマ：NPO の会計
- 講師：辻本匡範（税理士法人ゆびすい広島支店長、税理士・公益法人アドバイザー）
- 参加者：11 団体
- <第 3 回>
- 日時：2023 年 10 月 23 日（月）17:00～19:00
- テーマ：NPO の労務
- 講師：岡崎晃（岡崎社会保険労務士事務所 所長）
- 参加者：6 団体

【会場】ひろしま NPO センター事務所（広島県広島市中区）

※対面と zoom によるハイブリッド開催

【参加費】いずれかに参加：3,000 円/回、すべてに参加（割引）：8,000 円/3 回

【主催】特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

NPO 25周年事業
10団体限定!
少人数でじっくり学ぶ勉強会
NPO法人に求められる基本的な能力

主催：特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

NPO法ができてから四半世紀。NPO法人を取り巻く環境も大きく変わりました。いまNPO法人には社会の担い手としての期待と同時に、信頼できる存在であることが求められています。今よりも一歩前に進みたいNPO法人の皆様に向けて、多様化したNPOの現状に合わせた少人数でじっくり学ぶ（個別のご質問にも対応する）勉強会を開催します。

9.26 17:00-19:00 01 10月16日 [月]

10.23 17:00-19:00 03

講師：山田泰久、辻本匡範、岡崎晃

参加費：1団体あたり1名 3,000円/1回、すべてに参加（割引）8,000円/3回

◆ 介 紹 冊 子 ◆

1. 山田泰久 (JCNE 業務執行理事)

2. 辻本匡範 (税理士法人ゆびすい広島支店長)

3. 岡崎晃 (岡崎社会保険労務士事務所 所長)

②第 14 回中間支援組織役員向け合同研修

【行事名】これまで、いま、これからをつなぐ 中間支援組織 人材学校「秋の合宿研修」

【実施概要】<シンポジウム>

日時：11月1日（水）15:00～17:00

会場：広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市中区袋町 6-36）

登壇者：小林清（NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 副理事長兼事務局長）

竹田尚子（松江 NPO ネットワーク 代表）

米良重徳 (NPO 法人岡山 NPO センター 初代代表理事)

安藤周治 (NPO 法人ひろしまね 理事長)

於土井豊昭 (NPO 法人やまぐち県民ネット 21 理事、防府市地域協働支援センター長、元やまぐち県民活動支援センター長)

内 容：中国地方の NPO を支えてきた先輩方にこの 25 年を評価いただき、これからの NPO 支援の背景となる市民活動そのものの意義や価値を再確認した。

< テーマ型研修 >

日 時：11月2日(木) 10:00~16:30

会 場：広島大学東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB (広島市中区東千田町 1-1-89)

内 容：これからの中間支援組織に必要な役割などを考え学ぶ9つのテーマ(春合宿振り返り/海外から学ぶ/G7/集落支援/事務支援/中高大学生の地域活動サポート/休眠預金/公財との連携/若手支援者)の研修を実施した。

【参加費】< シンポジウム >

無料

< テーマ型研修 >

全コマ (最大 3 コマ) 8,000 円、1 コマ参加：3,000 円

【主 催】中国 5 県中間支援組織連絡協議会 (公益財団法人とっとり県民活動活性化センター、公益財団法人ふるさと島根定住財団、NPO 法人岡山 NPO センター、NPO 法人ひろしま NPO センター、NPO 法人やまぐち県民ネット 21)

【共 催】IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]、NPO 法人みんなの集落研究所、中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム、中国環境パートナーシップオフィス (EPO ちゅうごく)、中国地方 ESD 活動支援センター

中間支援組織 人材学校 「秋の合宿研修」

期 日 11/1(水) 15:00~17:00 / 11/2(木) 10:00~16:30

1日 シンポジウム
内容 中国地方のNPOを支えてきた先輩方にこの25年を評価いただき、これからのNPO支援の背景となる市民活動そのものの意義や価値を再確認します。

2日 テーマ型研修
内容 これからの中間支援組織に必要な役割などを考え学ぶ9つのテーマに分かれており、全部で3テーマにご参加いただけます。1コマテーマ。

費用 無料

シンポジウム

11/1(水) 14:30~15:00 受付 / 15:00~17:00 シンポジウム

2日 テーマ型研修

11/2(木) 10:00~11:45 受付

10:00~11:45 A-1 振り返り / A-2 毎集落 / A-3 休眠預金

12:45~14:30 B-1 海外から学ぶ / B-2 集落支援 / B-3 以財の活用

14:45~16:30 C-1 G7 / C-2 集落支援 / C-3 若手支援者

(3) ひろしま NPO センター組織基盤形成



近年継続して取り組んできた組織基盤強化の集大成として、理事会のあり方、事務局体制の改編、職員の働き方や労務管理、組織内のコミュニケーション、会員登録の改善、リニューアルした HP の運用等を確立した。

①組織体制

理事会等において役員体制の見直しに関する協議を行い、2024年度から新しい組織体制として、理事会及び事務局における組織運営に係るアドバイスや協力等を担う「相談役」を設置することを検討した。

②役員改選

2024年度第26回通常総会が役員改選の機会であるため、ビジョン・中長期計画（2021～2030）を推進するための新役員候補者を検討した。

③プロジェクトマネージャー

今後のビジョン・中長期計画（2021～2030）や組織運営に合わせたプロマネの役割や条件等を策定した。

④労務

2023年12月に全職員を対象に「働きやすい職場アンケート」を実施し、回答結果をプロマネから各スタッフに報告すると共に、今後の組織運営への反映を検討した。また、顧問契約している岡崎晃社労士と月1回の定例会を実施し、日常労務の問題解決、労務規定等の見直しや整備（育児・介護休業等に関する規則）、給与体系の改定、労務に関する学習、情報交流等を行った。

⑤経理

2023年10月1日から開始されたインボイス制度について、適格請求書発行事業者として登録し、経理業務で対応を開始した。また、電子帳簿保存法について、2024年1月1日から完全義務化されたため、同様に経理業務において電子帳簿保存のルールを設け運用を開始した。

⑥情報開示・発信（ホームページ・SNS）

組織概要や市民活動のお役立ち情報、実績紹介等をわかりやすく発信する Web サイトとしてホームページ及び Facebook ページをリニューアルし運用した。

2. 各種事業の実施内容

4つの事業方針に基づき、2023年度は、ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業が6事業（うち継続：6）、組織力・担い手を育成する事業が17事業（うち継続：12、新規：5）、市民社会連帯を強化する事業が8事業（うち継続：8）、社会的インパクトを創出する事業が7事業（うち継続：6、新規：1）、計35事業（うち継続：32、新規：3）を実施した。

（1）ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業

ステークホルダーとの対話や関係構築を推進し、市民セクターの存在意義や成果に対する理解促進、持続可能な社会づくりのための課題共有や目標形成を図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
1-1	継続	情報収集・発信	NPO 支援に関するイベント・助成金・施策等の情報収集や、ホームページ・Facebook・ニュースレター等を通じた発信。	年間	全国	自主財
1-2	継続	データベース構築・活用	各地の団体・取組・課題等の情報の記録・整理や、事業推進のためのデータ活用。	年間	全国	自主財
1-3	継続	相談対応業務	NPO・ボランティア・市民活動に関する各種相談の対応。	年間	全国	自主財
1-4	継続	委員等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会等への委員派遣。	年間	全国	自主財、謝礼金
1-5	継続	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。	年間	県内	自主財
1-6	継続	ガレリア事務所	新しい拠点を活用した情報交流の促進や新規事業の企画創出。	年間	県内	自主財

▶1-1 情報収集・発信

ホームページのリニューアルに伴い、Facebook ページを「メイン情報」「イベント情報」「助成金・寄付・ボランティア情報」の3ページに区分し、情報発信の整理と拡充を図った。



ホームページ

<https://npoc.or.jp/>



Facebook ページ (メイン情報)

<https://www.facebook.com/hiroshima.npoc>



Facebook ページ (セミナー・イベント情報)

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090106119533>



Facebook ページ (助成金・寄付・ボランティア情報)

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090147998492>

▶1-3 相談対応業務

NPO・ボランティア・市民活動等に関する各種相談に対応した。

OUTPUT 相談件数：**220**件

OUTCOME NPO等が抱える課題解決やステークホルダーとの連携創出

▶1-4 委員等の派遣

関係機関から依頼のあった委員会・協議会等に人材を派遣して参画し、取組への助言や協力、多様なステークホルダーとの対話交流を行った。

OUTPUT 派遣参画した機関：**71**主体

OUTCOME 関係機関の取組への助言・協力や多様な主体との対話交流

<委員等派遣の内訳>

担当者	役割／名称／主催
安藤 周治	<p>【理事長】特定非営利活動法人ひろしまね</p> <p>【理事】作木観光協会副会長</p> <p>【理事】三次広域商工会</p> <p>【理事】一般社団法人 みよし観光まちづくり機構</p> <p>【理事】コミュニティ政策学会</p> <p>【評議委員】公益財団法人マツダ財団</p> <p>【座長】水源地域支援ネットワーク運営会議／国土交通省</p> <p>【審査委員長】水の里の旅コンテスト／国土交通省</p> <p>【副会長】ローカル・マニフェスト中国運営委員／ローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国</p> <p>【委員】新たな担い手等による水源地域在り方検討会／国土交通省</p> <p>【委員】広島県河川整備基本方針等検討委員会／広島県（河川課）</p> <p>【委員】さとやま未来円卓会議／広島県（中山間地域振興課）</p> <p>【委員】へいわ創造機構ひろしま（HOPe）／広島県（平和推進プロジェクトチーム）</p> <p>【評価委員】過疎地域等自立活性化交付金事業／総務省</p> <p>【評価委員】集落ネットワーク圏形成事業／総務省</p> <p>【幹事】ひろしま国際交流サミット／公益財団法人ひろしま国際センター</p> <p>【大使】北海道むかわ町大使</p> <p>【就任】中山間地域コーディネーター&アドバイザー／山口県</p> <p>【就任】地域力創造アドバイザー／総務省</p>

	<p>【就任】青少年育成指導者／公益社団法人青少年育成広島県民会議</p> <p>【認定】地域活性化伝道師／内閣府</p>
中村 隆行	<p>【共同代表】日本ファンドレイズ協会中国チャプター</p> <p>【理事】自治労自治研究センター／全日本自治団体労働組合</p> <p>【副会長】広島県障がい(児)者と手をつなぐ県民会議</p> <p>【評議員】公益財団法人広島県男女共同参画財団</p> <p>【評議員】社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【評議員】社会福祉法人広島市社会福祉協議会</p> <p>【監事】社会福祉法人もみじ福祉会</p> <p>【監事】東日本大震災広島避難者の会アスチカ</p> <p>【監事】特定非営利活動法人子どもコミュニティネット広島</p> <p>【評価委員】岡山県ボランティア・NPO活動支援センター</p> <p>【幹事】中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会</p> <p>【委員長】江田島市まちづくり助成金審査委員会／江田島市</p> <p>【役員】広島県プラチナ世代支援協議会</p> <p>【委員】呉市市民協働推進委員会／呉市</p> <p>【委員】呉市住民自治組織あり方検討委員会／呉市</p> <p>【委員】社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会／社会福祉法人広島県共同募金会</p> <p>【委員】福祉サービスに対する苦情処理第三者委員／社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【審査委員】広島県ユネスコ協会 ESD 大賞 (学校部門)</p> <p>【認定】地域活性化伝道師／内閣府</p>
三好 久美子	<p>【副会長】広島県博物館協議会</p> <p>【監事】公益社団法人青少年育成広島県民会議</p>
児玉 宏	<p>【委員】広島市協同労働審査委員会</p>
松原 裕樹	<p>【共同代表】G7市民社会コアリション 2023</p> <p>【共同代表】みんなの市民サミット 2023 実行委員会</p> <p>【運営委員】Civil7</p> <p>【副議長】広島市災害ボランティア活動連絡調整会議／広島市 (市民活動推進課)</p> <p>【委員】広島県環境審議会／広島県 (環境政策課)</p> <p>【委員】広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会／社会福祉法人広島県社会福祉協議会</p> <p>【選考委員】RCC ラブ・グリーン賞／株式会社中国放送</p> <p>【委員】三原市市民協働推進委員会／三原市 (地域企画課)</p> <p>【委員】地域の実情を踏まえた体験活動事業に係る実行委員会／国立江田島青少年交流の家</p> <p>【委員】こくみん共済 coop 地域貢献助成審査委員会／こくみん共済 coop 中四国統</p>

	括本部 【委員】環境パートナーシップオフィス等運営委員会／地球環境パートナーシッププラザ・関東環境パートナーシップオフィス 【幹事】へいわ創造機構ひろしま (HOPe) ／広島県 (平和推進プロジェクトチーム) 【審査員】福山市協働のまちづくり事業審査会委員／福山市 (まちづくり推進課) 【審査員】イオンチアーズクラブサミット中四国大会 (審査会) ／イオンリテール株式会社中四国カンパニー 【認定】地域活性化伝道師／内閣府
山本 祐二	【委員】広島県医療費適正化計画検討委員会／広島県 (医療介護保険課) 【委員】公益信託広島市まちづくり活動支援基金運営委員会／株式会社広島銀行 (アセットマネジメント部) 【委員】江田島市指定管理者選定委員会委員／江田島市 (財政課)
松村 渉	【委員】広島市における生活困窮者支援体制構築のためのプラットフォーム整備事業／広島市健康福祉局保護自立支援課 【委員】大原学園教育課程編成委員／大原ビジネス公務員専門学校広島校
増田 勇希	【委員】広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／社会福祉法人広島県社会福祉協議会
香川 恭子	【構成員】広島市ボランティア情報センター運営委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 【構成員】広島市社会福祉協議会第8次福祉計画策定委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 【委員】移動等円滑化評価会議 中国分科会委員／中国運輸局 【委員】広島県国土利用計画審議会／広島県環境県民局
濱長 真紀	【委員】令和4年度広島県教科図書選定審議会委員／広島県教育委員会 【委員】令和4年度広島県生涯学習審議会／広島県教育委員会
中尾 圭	【委員】尾道市協働のまちづくり委員会／尾道市

▶1-5 ひろしま未来交流会

立場・分野・地域・世代の垣根をこえて広島の未来を語り合う交流会を開催 (毎月第2金曜日) した。

OUTPUT 実施回数：12回 参加者数：延べ192名

OUTCOME マルチステークホルダーの対話機会の促進

<実施概要>

回	日程	参加者数	意見交換テーマ
---	----	------	---------

第98回	2023年 4月7日（金） 19:00～21:00	12名	広島で学生が起業するには／備後のよいところ・竹原のよいところ／ヤングケアラー／身近な人が行方不明になったら／100回記念どうする？
第99回	5月12日（金） 19:00～21:00	13名	G7サミット／100回目に向けて／給水スポットを増やしたい／温暖化対策／安芸高田市の魅力／チャットGPT／写真展
第100回	6月9日（金） 19:00～21:00	36名	スペシャルゲストトーク（兒玉宏、石飛聡司、岡野由衣）／10年後の広島／オノミチふらっと交流会をどうするか／江田島のインバウンド／地域食堂・子ども食堂／外国人観光客の活かし方
第101回	7月14日（金） 19:00～21:00	17名	町内会の加入／月9とZ世代／日本が最も冷たいという調査結果／ありがとうございます／8月6日に騒ぐ集団／AIの使い方
第102回	8月4日（金） 19:00～21:00	13名	平和／平和ノートから”はだしのゲン”が削除／ビール／外国人観光／ふるさと納税／外国人労働者／フランスに研修に行った女性議員
第103回	9月9日（金） 19:00～21:00	12名	ゴミを見つけたとき、どうする!?!／ヤングケアラーと8050問題とWケア／参加と参画のちがいでイベントを開くには／夏の名残と秋の走り／意外と知らない広島の名産／ジャニーズ
第104回	10月13日（金） 19:00～21:00	18名	八丁堀／芸備線／ジャニーズ／福田村事件（映画）／平和公園×まちづくりイベント／道の駅
第105回	11月10日（金） 19:00～21:00	17名	海ごみ／ガザについて広島からできること／武士道／男の家事援助／SDGs
第106回	12月8日（金） 19:00～21:00	11名	旅行先で食べたい食事／ネーミングライツ／高校生のイメージ／世界最終戦争／日大アメフト部／来年の日本と世界
第107回	2024年 1月12日（金） 19:00～21:00	16名	広島城／G7テーブルの平和利用／平和資料館の展示（加害側）／海保・海自の遺跡の活用方法／被服支廠／学校教育
第108回	2月9日（金） 19:00～21:00	16名	慰霊碑の行方／ゴミ拾い／折り鶴ミニワーク／広島県3年連続人口流出／著作権／タダの箱庭プロジェクト／えたじま音楽村のネタ
第109回	3月8日（金） 19:00～21:00	11名	ひろしま遺産／ソーシャルビジネスとスタートアップの違い／外国人材の受入／福岡県の高校受験で出願が遅れた問題／100年後の広島／おもしろいNPO



読売新聞「ひろしま県民情報」(2023年7月26日)

(2) 組織力・担い手を育成する事業

NPO の組織基盤やガバナンスの強化を促進し、実践者や支援者の育成、ユースの活躍創出を図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
2-1	継続	ひろしま NPO サポート倶楽部	ゆうちょ銀行の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-2	継続	ろうきん NPO 寄付システム	中国労働金庫の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-3	継続	NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス	全国の NPO 支援センターと連携した、NPO の事務・経営支援。	年間	全国	自主財・利用料
2-4	継続	非営利組織の会計サポート	非営利組織の事務運営力の向上のために、会計や税務に関する相談対応、経理代行のサポート等を行う。	年間	県内	自主財・利用料
2-5	継続	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。	年間	全国	自主財ほか
2-6	継続	講師等の派遣	各主体から依頼のある研修会・フォーラム等への講師派遣。	年間	全国	自主財・謝礼金
2-7	継続	廿日市市市民活動相談業務	廿日市市市民活動センターの相談窓口業務の支援。	年間	県内	受託料
2-8	継続	JICA 中国開発教育支援事業	JICA 中国と連携した国際協力の担い手育成のためのプログラム企画や施設展示、広報等。	年間	中国地方	受託料
2-9	継続	2023 年度地球環境基金助成金説明会の開催に係る業務 (中国地区)	地球環境基金の助成金説明会(中国地区)の開催及び助成金審査に係る情報提供等を行う。	年間	中国地方	受託料
2-10	継続	廿日市市避難行動要支援者避難	地域における避難行動要支援者	未定	県内	受託料

		支援事業アドバイザー業務	に係る避難支援体制の構築を支援する。			
2-11	継続	インターンシップを通じたユース等の人材育成事業	大学生等を対象としたひろしま NPO センターのインターンシップの受入による人材育成。	年間	県内	自主財
2-12	継続	陽だまり組織基盤強化事業	Panasonic 助成事業における外部専門家として、陽だまりの組織基盤強化を支援する。	年間	県内	委託料
2-13	新規	2023 年度 JICA 中国青年研修「防災とまちづくり」	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	7～10 月	中国地方	受託料
2-14	新規	NPO 法施行 25 周年を契機としたガバナンス強化キャンペーン	NPO 法施行 25 周年を契機に、NPO 法人のガバナンスの見直しや強化のための支援を実施する。	年間	県内	自主財
2-15	新規	外国につながる高校生の進路支援事業の試み（ベイネット）	かめのり財団「多文化共生地域ネットワーク支援事業」におけるアドバイザー。	年間	県内	委託料
2-16	新規	ひろしま・おかやま若者サポートネットワーク事業に関するコンサルティング業務	どりのむスイッチが休眠預金を活用して実施する事業に対して、コンサルティング等を行う。	9～3 月	中国地方	委託料
2-17	新規	脱炭素地域づくり協働事業委託業務	鳥取県北栄町の脱炭素地域づくりを推進するための計画策定や人材育成等を支援する。	9～12 月	中国地方	委託料

▶2-1 ひろしま NPO サポート倶楽部

株式会社ゆうちょ銀行と連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：3 団体 助成総額：300,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	団体名	所在地	助成額
1	NPO 法人アニマルセラピー協会	東広島市	100,000 円
2	NPO コーチズ	広島市	100,000 円
3	NPO 法人三段峡一太田川流域研究会	安芸太田町	100,000 円

▶2-2 ろうきん NPO 寄付システム

中国労働金庫の NPO 寄付システムと連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：6 団体 助成総額：350,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	分野	団体名	所在地	助成額
1	子どもの健全育成	NPO 法人 SKY 協働センター	坂町	50,000 円
2	子どもの健全育成	NPO 法人 ひろしまレクリエーション協会	広島市	50,000 円
3	保健・医療・福祉	NPO 法人きらめき	福山市	50,000 円
4	保健・医療・福祉	NPO 法人くみサポ	広島市	50,000 円
5	地域安全活動	NPO 法人グリーンラインを愛する会	福山市	50,000 円
6	学術・文化・芸術	NPO 法人三次おやこ劇場	三次市	100,000 円

▶2-7 廿日市市市民活動相談業務

廿日市市市民活動センターまちづくり相談業務の支援。団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応を行った。

OUTPUT 実施概要：毎月第 2 木曜日 相談対応：13 件

OUTCOME NPO・市民活動団体の課題解決

(3) 市民社会連帯を強化する事業

市民セクターのエンパワメントを高めるためのパートナーシップを形成し、立場・地域・分野・世代をつなげるコーディネーションや中間支援機能の拡充を図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
3-1	継続	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局	広島県・市町・環境団体等と連携した県民参加の森づくり運動の実行委員会事務局。	年間	県内	受託料
3-2	継続	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサテライトキャンパスひろしまの運営。※会議室運営は終了。	年間	広島市	自主財

3-3	継続	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	中国5県のNPO支援センターやひろしま避難者の会アスチカと連携した避難者への支援活動。	年間	中国地方	自主財
3-4	継続	中国5県中間支援組織連絡協議会	中国5県のNPO支援センターと連携した情報・ノウハウ・人材交流や、中国5県の共通課題を解決するための協働取組の展開。	年間	中国地方	自主財
3-5	継続	令和5年度中国環境パートナーシップオフィス(EPO ちゅうごく)管理運営等業務	環境省との協働による、中国地方の環境パートナーシップ拠点・中国地方ESDセンターの運営や協働取組・ESDに関する事業の推進。	年間	中国地方	受託料
3-6	継続	SDGs推進のための事業	広島県(SDGs未来都市)や各主体と連携したSDGs推進のためのネットワーク形成や交流機会、協働取組等の実施。	年間	全国	自主財・受託料
3-7	継続	福山市まちづくりサポートセンター運営業務	多様な主体が参画し、地域課題・社会的課題の解決を行うため、福山市まちづくりサポートセンターの運営や強化を行う。	年間	福山市	受託料
3-8	継続	G7広島サミットに向けたプロジェクト	2023年に日本で開催されるG7サミット首脳会議に市民社会の声を反映するため、県内外のNPO/NGO等と連携して各国政府に働きかける。	年間	全国	自主財

▶3-1 ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局

多くの県民が身近な山へ入るきっかけをつくることを目的とし、森林ボランティア、NPO、行政等が協働し、6月の第一日曜日に“ひろしま「山の日」県民の集い”を開催する。また、そのための実行委員会事務局を運営した。

OUTPUT パートナーシップ：56 組織 参加者：1,231 名

OUTCOME 県民参加の森づくり運動の機運向上

<開催概要>

【日時】令和5年6月4日(日)集いの行事

【主催】ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社、中国放送

【特別協力】ひろしまの森林づくりフォーラム

【後援】林野庁近畿中国森林管理局、広島県、広島県教育委員会、東広島市、広島市、廿日市市、呉市、三原市、福山市、三次市、尾道市、大竹市、北広島町、世羅町、神石高原町、坂町、府中町、海田町、熊野町、(公社)広島県みどり推進機構、(一社)広島県森林協会、広島県森林組合連合会、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟、(公社)日本山岳会広島支部、(一財)全国「山の日」協議会、NHK広島放送局、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島

【協賛】西条・山と水の環境機構、㈱ウッドワン、中国木材㈱、マツダ㈱、広島県森林組合連合会、光和物産㈱、大和重工㈱、JAグループ広島、㈱タカキペーカリー、神沢精工㈱、クニヒロ(株)、山陽工業㈱、山陽乳業㈱、日の丸産業㈱、しまなみ信用金庫、東広島商工会議所、広島商工会議所、福山商工会議所、尾道商工会議所、広島市漁業協同組合、㈱広島バスセンター、みずえ緑地㈱、広島県環境保健協会

【場所】<メイン会場>

安芸郡4町メイン会場：坂町(ベイサイドビーチ坂)

安芸郡4町サブ会場：府中町(水分峡森林公園)、海田町(海田総合公園)

熊野町(ゆるぎ観音周辺)

<サテライト会場>

東広島市会場(憩いの森公園)、廿日市市会場(もみのき森林公園)、

広島市会場(ひろしま遊学の森・広島県緑化センター・広島市森林公園)

三原市会場(高坂自然休養村管理センター)、福山市会場(ふくやまふれ愛ランド)

三次市会場(酒屋いこいの森・ほしはら山のがっこう)

呉市会場(野呂山・野呂高原ロッジ周辺)、大竹市会場(マロンの里交流館)

北広島町会場(八幡高原)、世羅町会場(せら夢公園・せらワイナリー)

神石高原町会場(帝釈峡神龍湖)

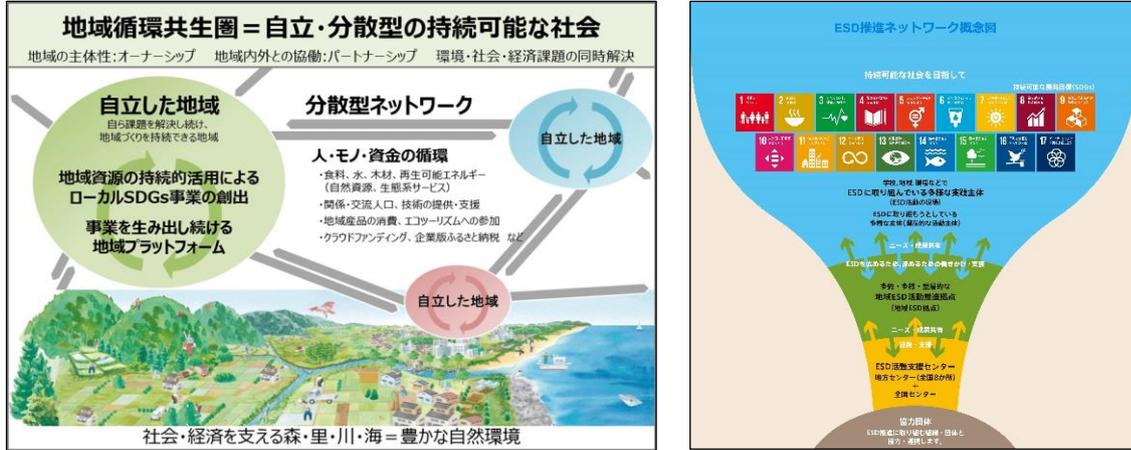
【参加者】7,511人(うち、山の手入れ等参加者576人)

【内容】山の手入れ、登山道整備、登山教室、自然観察会、森のネイチャーゲーム、木工教室、森のコンサートなど、各団体・企業等の持ち込み企画で実施



▶3-5 令和5年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

環境教育等促進法や ESD 国内実施計画で規定する役割を踏まえて、多様な主体による協働・連携の取組を広げることで、環境保全活動の活性化や地域循環共生圏の形成、ESD の推進を図った。



<EPO ちゅうごく>

OUTCOME

全国モデルとなる地域循環共生圏プラットフォームの構築

NPO、企業、金融機関、自治体、ユース、マスコミ等とのパートナーシップの拡充

相談対応や行事等の共催・協力・講師の依頼件数の増加

OUTPUT

地域循環共生圏づくり事業の伴走支援：**2** 団体（瀬戸内市／岡山県、YMFG-ZONE プラ
ニング／山口県）

イベント・セミナー等の参加：**8** 回、対話の場づくり・フォローアップ：**6** 回、開催

協力：**23** 回

相談対応：**184** 件

情報発信：**1,042** 件（アクセス数：50,733 件）

<中国地方 ESD 活動支援センター>

OUTCOME

SDGs の達成や脱炭素社会の実現に向けた ESD の先駆的実践及び活動支援の展開

ESD × 気候変動教育の

OUTPUT

ESD 学び合いフォーラムの開催：**1** 回、参加者：**22** 名（SDGs フォーラム in 東広島
～多様な参加者同士で考える、SDGs 達成に向けた次の一步と連携～）

地域 ESD 活動推進拠点における事業支援（しまね海洋館アクアス）

ESD 活動の支援 イベント・セミナー等の参加：**2** 回、開催協力：**40** 回

相談対応：**50** 件

情報発信：**253** 件（アクセス数：2,050 件）

2030 学び合いプロジェクト（北栄町脱炭素ロードブック制作プロジェクト） 学び合
いの実施：**3** 回、参加者：延べ**49** 名



EPO ちゅうごくホームページ

<https://epo-cg.jp/>



中国地方 ESD センターホームページ

<https://chugoku.esdcenter.jp/>



EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センターFacebook ページ

<https://www.facebook.com/EPOchugoku>

▶3-6 SDGs 推進のための事業

各主体と連携した SDGs 推進のためのネットワーク形成や交流機会、協働取組等を実施した。

<SDG サミットへの参加>

【旅 程】

- 9月16日(土)：渡米 (広島空港 12:55 発⇒羽田空港 14:20 着・17:15 発⇒ニューアーク空港 17:50 着)
- 9月21日(水)：帰国 (ニューアーク空港 10:30 発)
- 9月22日(木)：帰国 (羽田空港 13:35 着・18:05 発⇒広島空港 19:30 着)

【活動内容】

- 1) 9月17日(日)
 - ①SDG Action Weekend 出席
 - ②Global People's Assembly 2023 参加
 - ③SDG SUMMIT 2023 展示視察、関係団体との交流
 - ④Climate March 視察
- 2) 9月18日(月)
 - ⑤SDG SUMMIT 2023 視聴
 - ⑥Global People's Assembly 2023 参加
- 3) 9月19日(火)
 - ⑦NY からの発信：市民社会メンバーがみた「SDG サミット 2023」登壇
 - ⑧New York City・Queens Community 視察
 - ⑨国連職員との会合(その1)
- 4) 9月20日(水)
 - ⑩New York City・Queens Community 視察(昨日のつづき)

- ⑪国連職員との会合（その2）
 - ⑫市民社会メンバーとのリフレクション
 - ⑬国連・日本の SDGs 有識者との会合
- 5) その他
- ⑭ニューヨーク市街地の様子
 - ⑮国連・関連イベントの参加方法
 - ⑯イベント運営
 - ⑰ニューヨーク滞在中の生活費

【活動報告】

1) 9月17日（日）

①SDG Action Weekend 出席

日 時：2023年9月16日（土）11:00～18:00・17（日）9:00～17:30

場 所：国際連合本部ビル

概 要：SDG Action Weekend は、SDG サミットの影響を最大化するためのイベントとして、16日は動員 Day、分野の関係者が国連本部内に集まり、野心的な SDG サミットと国連総会ハイレベルウィークに向けて結集された。17日は加速 Day、国連のハイ・インパクト・イニシアティブを中心として、市民社会、民間部門、若者、科学者、地方自治体、その他の関係者の参加によって、SDG の中間地点を確認し、SDG サミットの成功に向けた貢献やフォローアップ、活動を促進するためのセッションが開催された。



9:00～9:45 Opening plenary : Mobilization

国連グテーレス事務総長からのビデオメッセージにより、SDGs が目標の 15% しか達成できていない危機感が訴えられ、SDGs 実現の加速に向けたパネルディスカッションが行われた。



10:00～11:30 Enrgy Compacts : Scaling up ambition to deliver on SDG7

クリーンエネルギーへの普遍的なアクセスのためには大規模な行動と投資が必要であることが議論された。エネルギーコンパクトイニシアティブでは、公正・包括的移・公平なエネルギー移行のために1兆ドルがコミットメントされた。



11:45～13:15 Local2030 Coalition : Pushing key transitions and achieving the SDG by 2030

2023 年のハイレベル政治フォーラムでは約 42%の国で地方自治体の有意義な関与が欠如していることがわかった。Local2030 Coalition は地方自治体とのパートナーシップを強化するプラットフォームとして、実践・取組・解決策に焦点を当て、地域での取組を加速される事例が紹介された。



16:45～17:30 SDG Action Weekend Closing Plenary

SDGs Action Weekend の集大成として、ハイインパクトイニシアチブやその他の主要なセッションで、SDG を活性化するためには、国連システムと加盟国だけでなく、若者から民間部門までのすべての担い手のリーダーシップや具体的な行動、SDG サミットの団結が求められた。

②Global People's Assembly 2023 参加

日 時：2023 年 9 月 17 (日) 9:00～15:00・18 日 (月) 7:00～18:30

場 所：国際連合プラザ (オンラインによるハイブリッド開催)

概 要：市民社会の代表者が集まり SDG サミットに向けた発言力を生み出すイベントとして 2019 年から 40 の市民社会ネットワークが共催してきた、また 35 カ国で開催されている。あらゆる分野の社会課題や今後のサミットに向けた動員、国連改革等について議論され、Declaration of the Global People's Assembly 2023 の草案が作成された。



13:30～15:00 Achieving the SDGs through Intergenerational Collaboration

基調講演をもとに、世代間のコラボレーションや SDGs の達成に向けたコミュニティとの連携について事例発表が行われ、SDG 後半に向けて何ができるか参加者同士で意見交換した。

③SDG SUMMIT 2023 展示視察、関係団体との交流



15:00～ SDG SUMMIT 2023 展示視察、関係団体との交流

SDG SUMMIT 2023 の開催期間中において国連本部内の会場に設置された、SDGs に係る社会課題や取組の紹介、著名人からのメッセージ等の展示を視察した。また、現地参加している関係団体と情報交流やネットワーク構築を行った。なお、日本の政府関係者以外で、ビジネスセクターやその他のステークホルダーはほとんど見かけなかった。

④Climate March 視察



16:00～ Climate March 視察

世界の企業や政府、NGO などが集結して気候変動に対する取り組みを求める「クライメート・ウィーク NYC」が SDG サミットに合わせて実施され、化石燃料撤廃を求める声が挙げられた。気候マーチでは、ベビーカーを押すお母さん、労働者、環境 NGO、ユース、高齢者など、7万人の老若男女が気候変動と子育て・生活・労働・次世代・核兵器・政治などの関連性を基に化石燃料撤廃を訴えていた。また、国連イベントと共にこのような取組を許容しているニューヨークの行政や市民の社会性、声を挙げるという意識が素晴らしかった。声の挙げ方としてプラカードや横断幕、モニュメントなどの工夫があり、おそらくそれらを準備するプロセスから参加して行動を促しているのが伺える。マーチ関係者から聞いた話によるとこのような運動手法はモビライゼーションと呼ばれているらしく、より詳しく調べて参考にしたい。

2) 9月18日(月)

⑤SDG SUMMIT 2023 視聴

日時：9月18日(月) 9:00～18:00・19日(火) 15:00～19:00

場所：国際連合本部

概要：国連総会ハイレベルウィークに開催される国際会合。2030 アジェンダの中間点として、SDGs の実施状況のレビュー、政策指針の提供、実施を加速させるための行動や課題の検討が行われた。



9:00 ～ Opening Segment, Setting the Stage, Plenary Segment, Leaders' Dialogues

国連グテーレス事務総長のスピーチや政治宣言の採択、ステークホルダーからの声明、首脳対話等が行われ、SDGs の達成度が危機的状況にあることと世界の現状評価だけでなく、2030 アジェンダの達成に向けた加速や共通の利益に係る具体的な行動が議論された。

また、SDG サミットのオブザーブは狭き門で、国際社会のステークホルダーや市民社会の NGO グループに割り振りされた席に各セクターから選出される。各セッションにおいて市民社会は数席の枠組みで、日本の市民社会からは2名がオブザーブ出席した。

⑥Global People's Assembly 2023 参加



13:00～14:00 Finalise the Declaration

14:00～17:00 Civil Society Networking Session

17:00～18:30 Final Plenary

「Declaration of the Global People's Assembly 2023」の作成に向けた議論を行い、「1. 経済的・財政的正義」「2. 気候・環境正義」「3. 社会正義と男女平等」「4. 市民社会、人権、国連」の4つのテーマについて、国連総会への要求を含めた宣言文を採択した。また、今後の市民社会の計画とネットワークとして、SDG サミットや気候変動野心サミット、COP 28、2025年に向けた動員等について話し合った。

市民社会イベントでは、パネルディスカッションやワークショップ形式で実施されていたのは

万国共通と感じた。イベント開催までのプロセスが不明だが当日集まって議論を始めている内容もあった様子で、当日までに何ヶ国から何名の参加があり、どのような議論のプロセスがあったのかわかるとよい。

3) 9月19日(火)

⑦NYからの発信：市民社会メンバーがみた「SDGサミット2023」登壇

日時：2023年9月19日(火) 7:00～8:00 (20:00～21:00/日本時間)

場所：オンライン配信 (zoom)

概要：ニューヨークでSDGサミット2023等に参加した日本の市民社会組織(9団体)のメンバーと根本かおる氏(国連広報センター 所長)が、サミットの開催状況や活動内容、市民セクターからの視座について、日本に向けてオンラインで速報を配信した。



開催決定!! NYからの発信
市民社会メンバーがみた「SDGサミット2023」

SDGジャパン 事務局員 新田英理子
特定非営利活動法人 アドボカシー シニアアドバイザー 柴田哲子
特定非営利活動法人 アドボカシー 代表 若林秀樹
特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会 代表理事 稲場雅紀
特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター 事務局員 松原裕樹
ビジネスパートナー 国連コーポレート メリ ジョイス
公益財団法人 セーブ・ザ・チルドレン ジャパン アドボカシー 代表 堀江由美子
特定非営利活動法人 「国連・持続可能な開発目標」推進センター 事務局長 逸藤理紗
国連等野党社会に向けた ジャパン・ユースプラットフォーム 代表理事 森井悠里香

国連広報センター 所長 根本かおるさん
登壇決定!!

日時：2023年9月19日(火) 20:00～21:00
開催方法：zoom
申込：https://tinyurl.com/y12tedcw
またはQRコードから

7:00～8:00 NYからの発信：市民社会メンバーがみた「SDGサミット2023」登壇

日本の市民社会の多様な立場から現地の学びをレポートすると共に、根本所長にも登壇いただき国連関係者からの貴重な情報や示唆を提供できた。オンラインで日本から多くの参加がありSDGサミットやSDGs後半年に向けた関心の高まりを感じた。時差の関係や会場確保の問題から準備や運営の大変さがあった。

⑧New York City・Queens Community 視察





New York City・Queens Community 視察

ニューヨークの市街地では SDGs の広告をほとんど見かけることはなく、SDG サミットの告知がある程度であった。SDG サミットの開催に対して多くの一般市民が積極的に関わっているかについて、それはほとんど感じられない様子であった。国連から数十メートルの距離の道端にホームレスが寝ており、タイムズスクエアなどの中心街は路上のゴミや悪臭が気になった。レンタルバイクの整備が充実していて利用者も多い、Uber は時期や時間帯によって高額になるので要注意、新型コロナ対策はあまり気にせずに観光できる。ホテル滞在していたクイーンズエリアの一面では集合住宅を中心としてコミュニティキャパシティビルディングや住民向けの行事が行われている様子が伺えた。

⑨国連職員との会合（その1）



17:00～18:00 UN DESA 小野氏との会合

国連経済社会局（DESA）インクルーシブな社会開発部チーフの小野舞純氏と会合を行い、DESA が取り組んでいるユース・障害者・高齢者のソーシャルインクルージョン事業や G7・G20 との関わり、国連職員から見た SDG サミット 2023 についてヒアリングし、SDGs 後半年に向けた課題について意見交換した。

4) 9月20日（水）

⑩New York City・Queens Community 視察（昨日のつづき）

⑪国連職員との会合（その2）



13:30～15:30 UN DESA 山田氏との会合

国連経済社会局（DESA）Programme on Youth Unit Associate Social Affairs Officer 山田晃平氏と会合を行い、DESA が取り組んでいる国連のシンクタンク機能やユースデリケートプログラム事業、国連職員から見た SDG サミット 2023 についてヒアリングし、SDGs 後半年に向けたユース・市民社会の課題について意見交換した。

⑫市民社会メンバーとのリフレクション



16:00～18:00 市民社会メンバーとのリフレクション

日本の市民社会組織から SDG サミット等に参加したメンバーと、ニューヨークでの滞在を振り返りながら、それぞれが出席したイベントの内容や成果について情報共有し、SDGs 後半年に向けて各々の組織でどのように取り組むか、市民社会全体としてどのような課題があるか意見交換した。

⑬国連・日本の SDGs 有識者との会合



⑬19:00～21:00 国連・日本の SDGs 有識者との会合

日本の市民社会のメンバーで、国連広報センター所長の根本かおる氏、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授の蟹江憲史氏フジテレビ株式会社社会貢献推進局の木幡美子氏と会合を行い、SDG サミットや関連行事に係る所感や SDGs 後半年の課題等について意見交換した。根本所長は SDG サミット会場のメディアゾーンからの発信に力を入れていた様子。メディアからの情報発信は重要で、SDGs を推進していく上で、メディアは大切なパートナーとなりうる。滞在先のホテルや帰国後のテレビで現地ニュースの報道を確認した。

5) その他

⑭ニューヨーク市街地の様子



国連周辺のニューヨーク市街地の交通規制について、G7 広島サミット開催当時の広島市の状況と似ていた。国連職員から聞いた話によると、グテーレス事務総長はニューヨーク市民に気を遣っているとのこと。道路の渋滞は起こっているがニューヨーク市民は慣れている様子、各国首脳が滞在しているホテル周辺は警備が厳重、移動の際は車列が通る前後の数十分間は道路や横断歩道が規制されていた。

⑮国連・関連イベントの参加方法



国連及び関連イベントの出席方法について、事前に Web サイトからエントリーしていたが、直前に変更案内が届いたり、直前まで詳細が決まらないことがあり、現地対応が必要となった。また、警備が厳重な中で、国連本部への入館方法は紙チケットで意外とアナログであった。

⑯イベント運営



イベントの装飾は見栄えがよく機運の高まりを促している。国連施設の常設展示、SDG サミット 2023 の特別展示等の内容は見応えがあった。イベント運営では、登壇者の出身地域・ジェンダー・世代等の多様性やバランス、情報保障やペーパーレスに配慮されていた。

⑰ニューヨーク滞在中の生活



円安と物価高により、昼食はハンバーガー・ポテト・ジュースとチップ含めて 25 ドル(3,500~4,000 円)、夕食は 5,000~7,000 円程度であった。ホテルの宿泊費も高く、ニューヨークでは最低でも 1 泊 2~3 万円以上の費用が必要であった。

【成果と課題】

SDGs 市民社会ネットワークの地域ユニットの代表として、この度の渡米は大きな成果となった。

まず国際会合に参加して得られたインプットについて、SDGs の前半年の総括や進捗状況、SDGs の後半年に向けた課題や可能性を把握することができ、SDGs に対する国際的なステークホルダーの取組状況や熱量を感じられたこと、市民社会の行動力としての気候マーチを体感できたこと、国連職員や海外 NGO、関係者等と意見交流したことは現地に行かないと学べない貴重な価値があった。

次いでアウトプットとしては、今年は SDGs 市民社会ネットワークが G7 広島サミットのアドボカシーに尽力していたこともあったので、SDG サミット 2023 に対する政策提言プロセスへの参画は十分な成果を残せなかったかもしれないが、その一方で、G7 広島サミットの経験から得た情報や Civil7 政策提言書の紹介をきっかけに、SDGs を担う国際的な NGO メジャーグループと情報交流することができた。そして、私は今年、国際会合に係るホスト（G7 広島サミット）とゲスト（SDG サミット）の両面を経験した立場からの学びもあった。海外 NGO との関係構築や連携では、同様の社会課題テーマであっても Civil7 と SDGs では担い手が異なる場合がある。G7 広島サミットと異なり SDG サミットは開催地の地域性というものは感じられなかったので、Global People's Assembly 2023 等は国際会合に対する市民社会の国際的な集合という雰囲気であった。海外では SDGs の取組や成果のエビデンスを積み上げており、日本でも参考にしたい方法として、市民社会ネットワークが国際会合に政策提言していく際にも必要な要素だと改めて感じた。

SDGs 市民社会のネットワークは、今年、G7 広島サミットと SDG サミットの 2 つの国際会合にアクションし、それを担ったネットワークの構成団体や担い手は、この一連の取組を通じた相互理解や関係構築、共通経験を得ることができ、SDGs 後半年に向けた取組加速の基盤強化や国内外の NPO/NGO の連携促進に繋がる成果となった。

また、この度の国際会合に、SDGs 市民社会ネットワークから多世代で参加できたこともよかった。それは、SDGs に限らず様々な分野の国際会合において、ネットワークとノウハウの継承が常に課題となるため、今後も国際会合に継続的に参画すると共に政策提言していくことは、SDGs 達成に向けたグローバルな課題解決に寄与できるものと考えている。

OUTCOME SDGs 後半年に向けた情報収集及び課題把握

OUTPUT SDG サミットへの参加

(4) 社会的インパクトを創出する事業

重点テーマの問題解決や価値創造を推進し、災害や新型コロナからの復興と次なる備え、環境・社会・経済が好循環する協働と仕組みづくりを図った。

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
4-1	継続	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財、補助金、利用料
4-2	継続	広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財、補助金、利用料
4-3	継続	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2020 年度通常枠	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-4	継続	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2021 年度通常枠	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-5	継続	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2022 年度通常枠	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	1～3 月	中国地方	助成金
4-6	新規	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2023 年度通常枠	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	1～3 月	中国地方	助成金
4-7	継続	災害支援活動	行政・社協・NPO 等と連携した災害復旧・復興や防災のための活動支援、関係機関との協働事業の展開。	年間	県内	自主財、寄付金
4-8	新規	令和 5 年度地域循環共生圏づくり支援体制構築事業参加団体の審査委員会運営業務	2024 年度の EPO 事業において伴走支援する地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の応募団	3 月	中国地方	受託料

			体の審査会を運営する。			
--	--	--	-------------	--	--	--

▶4-1 広島市公募型常設オープンスペース「つばさ」

広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援を行った。また、拠点へ来られない方向けに訪問支援やメタバース空間を活用した交流促進を行った。



「助産師さんと話そう」



「季節の行事」



「大きくなったかな」



「お誕生日カード」



「商店街連携お月見コンサート」



「プレパパママセミナー」

OUTPUT

<子育て親子の交流の場の提供>

開設日数：280 日 利用者数：8,178 名

大人：4,098 名／男性：375 名、女性：3,723 名

小人：4,080 名／0 歳児：1,276 名、1 歳児：1,854 名、2 歳児：624 名、3 歳児：195 名、
その他：131 名

<子育てに関する相談・助言の実施>

相談対応件数：354 件

生活に関すること：135 件、育児等に関すること：27 件、発育・発達に関すること：116 件、その他：86 件

<地域の子育てに関する情報提供>

提供方法：チラシ配布、口頭説明、電話対応、ホームページ掲載など

提供内容：市民と市政の子育て情報（8区版）、子育てサポートブックの情報、各区の子育て支援センターの情報、市内の他の OS の情報、保育園情報や幼稚園情報、保健や小児医療に関する情報、就労に関する情報、遊び場に関する情報、防災・災害への備え、感染症予防、その他子育て家庭の生活に関わる情報全般

<子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施>

実施実績：43 回 講習会：23 回 交流会：20 回

利用者数：959 名／大人：495 名、小人：464 名

<ホームスタートによる訪問支援活動>

利用者数：1,050 名／大人：448 名、小人：602 名

<配慮が必要な子育て家庭等への支援>

開設日数：99 日 利用者数：389 名

大人：216 名、小人：173 名

<休日における育児参加促進のための講習会>

実施回数：27 日 利用者数：85 名

大人：67 名

小人：18 名

<一時預かり事業の実施>

実施日数：273 日 預かり児童数：519 名

OUTCOME

子育て当事者の課題解決や子育て支援に係る担い手の育成

<広島県子育て支援員研修講師>

実施日数：3日 受講者数：180名

<ホームスタートジャパン普及啓発学習会講師等>

実施日数：19日 立ち上げ4団体 立ち上がり予定2団体

●立上げ戦略チームメンバー

- 立上げ戦略会議への参加 11回
- 推進委員ミーティングへの参加 1回
- オンラインサロン「縁」の進行 2回 参加 4名
- 地域スキームの立上げ相談サポート 愛媛県今治市及び上島町 20名、松山市 7名
- 地域スキーム立上げガイド等の改良
- 愛知県家庭訪問型子育て支援推進事業 講師
- 立上げ相談サポート・オンライン面談等

●政策・自治体戦略チームメンバー

- 政策・自治体戦略会議の開催 -訪問型子育て支援
- オンラインセミナー開催 -養育支援訪問事業情報交換会
- 訪問型こども子育て支援推進ネットワーク 会議参加、協働セミナーへの協力 -こども

<広島経済同友会ダイバシティ委員会 講師「育休前パパママ応援プロジェクト」>

実施日数：1日 受講者数：70名



<広島市「子ども・子育て会議市民委員」排出>

実施日数：1日 つばさ利用者さんに情報提供し、応募、採用された

<ひろしま多胎ネット立ち上げ支援>

実施日数：5日 多胎育児を行う方からの相談を受け、立ち上げをサポート



子育て支援のニーズに対応する中で、多胎育児家庭の困りごとが、行政の制度では十分に解決できないことがわかり、多胎育児中の方の集まりを持った。それをきっかけに団体の立ち上げをめざし、NPO センターで立ち上げをサポートした。

▶4-2 広島市公募型常設オープンスペース「いいね」

OUTPUT

<子育て親子の交流の場の提供>

開設日数：240 日 利用者数：6,801 名

大人：3,220 名／男性：202 名、女性：3,018 名

小人：3,581 名／0 歳児：1,139 名、1 歳児：1,464 名、2 歳児：609 名、3 歳児：215 名、

その他：154 名

<子育てに関する相談・助言の実施>

相談対応件数：332 件

生活に関すること：110 件、育児等に関すること：71 件、発育・発達に関すること：88 件、その他：63 件

<地域の子育てに関する情報提供>

提供方法：チラシ配布、口頭説明、電話対応、ホームページ掲載など

提供内容：市民と市政の子育て情報（8 区版）、子育てサポートブックの情報、各区の子育て支援センターの情報、市内の他の OS の情報、保育園情報や幼稚園情報、保健や小児医療に関する情報、就労に関する情報、遊び場に関する情報、防災・災害への備え、感染症予防、その他子育て家庭の生活に関わる情報全般

<子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施>

実施実績：24 回 講習会：12 回 交流会：12 回

利用者数：534 名／大人：275 名、小人：259 名

<ホームスタートによる訪問支援活動>

利用者数：414 名／大人：171 名、小人：243 名

<一時預かり事業の実施>

実施日数：226 日 **預かり児童数：381 名**

▶4-4 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2020」

▶4-5 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2021」

▶4-6 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県における発災時の相互支援体制

構築に向けた地域の支援団体育成・強化事業（中国 5 県休眠預金等活用活用事業 2022 年度発災枠）」

中国 5 県の NPO 支援センター（公益財団法人とっとり県民活動支援センター、公益財団法人ふるさと島根定住財団、特定非営利活動法人岡山 NPO センター、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、特定非営利活動法人やまぐち県民ネット 21）と連携したコンソーシアムにより、休眠預金等活用事業の資金分配団体を運営し、実行団体への助成金の配分及び伴走支援を行った。



<広島県内の実施概要>

2020 通常	テーマ	生きづらさを抱える人が、働くことを通じて自分らしく暮らすことができるサポート事業
	採択団体	特定非営利活動法人ブエンカミーノ
2021 通常	テーマ	中山間地域を担う生業づくり
	採択団体	特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会 一般社団法人フウド
2022 災害枠	テーマ	中国 5 県内での担い手の育成と市町村域における連携体制構築で大規模災害時に助け合える体制をつくる
	採択団体	一般社団法人ひろしま防災減災支援協会

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム公式ページ <https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/>

2019 通常枠の報告書 <https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/information/chu5/1328/>

緊急枠（コロナ枠）の報告書 <https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/information/introduction/1185/>

2020 通常枠の報告書 <https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/information/pickup/1415/>

III 決算報告

■活動計算書 8 期比較

勘定科目	2016 度	2017 年度	2018 度	2019 年度	2020 年度
経常収益	44,850,189	102,057,143	120,801,974	129,318,986	193,803,616
人件費	30,823,823	46,355,803	60,230,625	62,465,592	61,772,485
その他経費	28,444,144	45,355,803	60,535,007	65,178,726	122,874,612
当期経常増減額	-14,417,778	9,704,340	36,342	1,674,668	9,156,519
過年度損益修正益	0	9,784	0	200,000	0
過年度損益修正損	17,072	3,216,953	0	8,651	0
固定資産除去損	0	0	0	0	0
法人税	71,000	71,000	71,000	71,000	142,000
当期正味財産増減額	-14,505,850	6,426,171	-34,658	1,795,017	9,014,519
前期繰越正味財産額	1,764,696	-12,741,154	-6,314,983	-6,349,641	-4,554,624
次期繰越正味財産額	-12,741,154	-6,314,983	-6,349,641	-4,554,624	4,459,895

勘定科目	2021 度	2022 年度	2023 年度
経常収益	344,217,466	267,653,405	241,884,548
人件費	69,454,547	90,995,774	89,264,038
その他経費	270,806,012	174,741,893	148,082,534
当期経常増減額	3,956,907	1,915,738	4,537,976
過年度損益修正益	0	0	0
過年度損益修正損	0	0	0
固定資産除去損	0	140,132	0
法人税	71,000	71,000	71,000
当期正味財産増減額	3,885,907	1,704,606	4,466,976
前期繰越正味財産額	4,459,895	8,345,895	10,050,408
次期繰越正味財産額	8,345,802	10,050,408	14,527,384

活動計算書

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	[税込] (単位: 円)				
	特定非営利活動に係る事業	休眠預金2020	休眠預金2021	休眠預金2022	合計
【経常収益】					
【受取会費】					
正会員受取会費	338,000	0	0	0	338,000
協力会員受取会費	182,000	0	0	0	182,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	1,703,716	0	0	0	1,703,716
【受取助成金等】					
受取助成金	7,664,754	33,677,961	36,651,281	40,833,609	118,827,605
受取補助金	33,776,000	0	0	0	33,776,000
【事業収益】					
事業収益	5,125,181	0	0	0	5,125,181
受託事業収益	81,921,453	0	0	0	81,921,453
【その他収益】					
受取利息	213	0	0	0	213
雑収益	10,380	0	0	0	10,380
経常収益計	130,721,697	33,677,961	36,651,281	40,833,609	241,884,548
【経常費用】					
【事業費】					
(人件費)					
給料 手当(事業)	64,530,921	4,838,400	1,967,102	1,422,041	72,758,464
通勤費(事業)	3,457,116	308,850	70,148	47,209	3,883,323
法定福利費(事業)	7,776,285	772,090	304,092	220,390	9,072,857
福利厚生費(事業)	86,988	0	0	0	86,988
人件費計	75,851,310	5,919,340	2,341,342	1,689,640	85,801,632
(その他経費)					
諸謝金(事業)	2,961,460	854,202	396,000	561,000	4,772,662
業務委託費(事業)	5,839,950	12,559,235	3,897,123	3,859,471	26,155,779
印刷製本費(事業)	1,786,749	0	0	0	1,786,749
会議費(事業)	12,824	0	0	0	12,824
旅費交通費(事業)	7,044,606	2,019,912	158,129	162,323	9,384,970
通信運搬費(事業)	1,531,043	145,760	25,871	39,490	1,742,164
消耗品費(事業)	1,487,847	476,199	60,341	1,320	2,025,707
図書購読費(事業)	57,932	0	0	0	57,932
修繕費(事業)	0	0	0	0	0
水道光熱費(事業)	295,977	31,522	50,175	64,390	442,064
リース料(事業)	770,000	0	0	0	770,000
地代家賃(事業)	4,197,044	408,000	649,416	833,424	6,087,884
貸借料(事業)	3,399,531	105,330	0	23,260	3,528,121
広告宣伝費(事業)	20,000	0	0	0	20,000
接待交際費(事業)	786,507	0	0	0	786,507
保険料(事業)	41,813	0	0	0	41,813
諸会費(事業)	52,000	0	0	0	52,000
租税公課(事業)	5,464,700	0	0	0	5,464,700
研修費(事業)	138,500	22,600	6,220	0	167,320
支払手数料(事業)	657,112	138,545	38,478	57,893	892,028
支払助成金	260,549	10,997,316	29,028,186	33,541,398	73,827,449
支払利息(事業)	955,255	0	0	0	955,255
雑費(事業)	212,283	0	0	0	212,283
その他経費計	37,973,682	27,758,621	34,309,939	39,143,969	139,186,211
事業費計	113,824,992	33,677,961	36,651,281	40,833,609	224,987,843
【管理費】					
(人件費)					
給料 手当	2,369,200	0	0	0	2,369,200
通勤費	48,653	0	0	0	48,653
法定福利費	1,131,541	0	0	0	1,131,541
福利厚生費	9,476	0	0	0	9,476
人件費計	3,558,870	0	0	0	3,558,870
(その他経費)					
業務委託費	550,000	0	0	0	550,000
諸謝金	502,500	0	0	0	502,500
印刷製本費	515,383	0	0	0	515,383
会議費	161,500	0	0	0	161,500
旅費交通費	232,220	0	0	0	232,220
通信運搬費	356,374	0	0	0	356,374
消耗品費	259,301	0	0	0	259,301
水道光熱費	95,723	0	0	0	95,723
地代家賃	1,238,952	0	0	0	1,238,952
貸借料	15,400	0	0	0	15,400
接待交際費	3,240	0	0	0	3,240
減価償却費	3,915,265	0	0	0	3,915,265
保険料	28,600	0	0	0	28,600
諸会費	82,275	0	0	0	82,275
リース料	228,624	0	0	0	228,624
租税公課	2,731	0	0	0	2,731
支払手数料	299,158	0	0	0	299,158
支払利息	216,253	0	0	0	216,253
雑費	96,360	0	0	0	96,360
その他経費計	8,799,859	0	0	0	8,799,859
管理費計	12,358,729	0	0	0	12,358,729
経常費用計	126,183,721	33,677,961	36,651,281	40,833,609	237,346,572
当期経常増減額	4,537,976	0	0	0	4,537,976
【経常外収益】					
経常外収益計	0	0	0	0	0
【経常外費用】					
経常外費用計	0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減	4,537,976	0	0	0	4,537,976
法人税、住民税及び事業	71,000	0	0	0	71,000
当期正味財産増減額	4,466,976	0	0	0	4,466,976
前期繰越正味財産額	10,050,408	0	0	0	10,050,408
次期繰越正味財産額	14,517,384	0	0	0	14,517,384

貸借対照表

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和6年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	13,842,307
レジ現金(つばさ)	127,490	前受金	82,490,305
レジ現金(いいね)	102,900	短期借入金	34,000,000
普通預金	95,095,152	預り金	498,574
定期預金	50,000	未払法人税等	71,000
現金・預金計	95,375,542	未払消費税	912,300
(売上債権)		流動負債計	131,814,486
未収金	42,823,978	【固定負債】	
売上債権計	42,823,978	長期借入金	3,380,000
(その他流動資産)		固定負債計	3,380,000
前払費用	514,470	負債合計	135,194,486
仮払金	900,421	正味財産の部	
その他流動資産計	1,414,891	【正味財産】	
流動資産合計	139,614,411	前期繰越正味財産額	10,050,408
【固定資産】		当期正味財産増減額	4,466,976
(有形固定資産)		正味財産計	14,517,384
建物	960,063	正味財産合計	14,517,384
建物附属設備	1,042,525		
什器備品	4,001,574		
有形固定資産計	6,004,162		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	545,417		
無形固定資産計	698,297		
(投資その他の資産)			
保証金	200,000		
敷金	2,700,000		
長期前払費用	495,000		
投資その他の資産計	3,395,000		
固定資産合計	10,097,459		
資産合計	149,711,870	負債及び正味財産合計	149,711,870

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和6年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

レジ現金(つばさ)	127,490
レジ現金(いいね)	102,900
普通 預金	95,095,152
広銀・銀山町支店	(4,878,652)
広銀・八丁堀支店	(190,696)
広銀・銀山町支店	(7,108)
広銀・八丁堀支店	(3,423,834)
広銀・県庁支店	(9,525,833)
広銀・銀山町支店	(30,587,230)
広銀・県庁支店	(44,844,126)
振替貯金(会費)	(606,690)
振貯・サポート倶楽部	(531,882)
労金寄付①保険医療	(6,600)
労金寄付②社会教育	(6,420)
労金寄付③まちづくり	(25,880)
労金寄付④文化スポ	(15,680)
労金寄付⑤環境保全	(46,860)
労金寄付⑥災害救援	(156,374)
労金寄付⑦地域安全	(600)
労金寄付⑧人権平和	(16,480)
労金寄付⑨国際協力	(5,460)
労金寄付⑩男女共同	(4,220)
労金寄付⑪子ども健全	(9,900)
労金寄付⑫情報社会	(1,460)
労金寄付⑬科学技術	(4,800)
労金寄付⑭経済活動	(10,760)
縦上労金寄付⑮職業訓練	(9,560)
労金寄付⑯消費者保	(29,040)
労金寄付⑰NPO支	(7,420)
労金寄付⑱フリー	(44,501)
労金寄付⑲観光振興	(40,805)
労金寄付⑳中山間振興	(6,280)
労金寄付㉑立上助成金	(50,001)
定期 預金	50,000
現金・預金 計	95,375,542
(売上債権)	
未 収 金	42,823,978
環境省EPO	(38,274,392)
新)福山まちサポ	(2,164,741)
JICA中国開発教育	(2,027,584)
廿日市市	(26,400)
チラシ配架料(OSいいね)	(2,000)
共生圏	(328,861)
売上債権 計	42,823,978
(その他流動資産)	
前払 費用	514,470
紙屋町がレリ73階	(495,000)
西日本携帯電話㈱	(19,470)
仮 払 金	900,421
一般管理経費	(52,726)
環境省EPO経費	(369,300)
福山市まちサボ経費	(1,300)
その他事業経費	(94,580)
休眠預金事業経費	(42,816)

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和6年 3月31日 現在

OSつばさ経費	(165,609)		
OSいね経費	(150,000)		
WEB振込料	(24,090)		
その他流動資産 計	<u>1,414,891</u>		
流動資産合計		139,614,411	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建 物	960,063		
建物附属設備	1,042,525		
什器 備品	4,001,574		
有形固定資産 計	<u>6,004,162</u>		
(無形固定資産)			
電話加入権	152,880		
ソフトウェア	545,417		
無形固定資産 計	<u>698,297</u>		
(投資その他の資産)			
保 証 金	200,000		
敷 金	2,700,000		
紙屋町ガレリア3階 長期前払費用	(2,700,000)		
投資その他の資産 計	<u>495,000</u>		
固定資産合計	<u>3,395,000</u>	10,097,459	
資産の部 合計			149,711,870
			《負債の部》
【流動負債】			
未 払 金	13,842,307		
給 与(センター)	(6,396,643)		
給 与(子育て)	(2,287,598)		
社会保険料	(1,035,032)		
労働保険料	(794,827)		
電気代(紙屋町ガレリア)	(32,993)		
㈱S-Produce.	(63,800)		
㈱コーヨー	(6,600)		
会計サポート	(141,900)		
㈱AWANE	(3,300)		
リコージャパン㈱	(29,142)		
経費(環境省EPO)	(574,080)		
経費(休眠預金2020)	(1,305,238)		
経費(休眠預金2021)	(430,430)		
経費(休眠預金2022)	(264,231)		
経費(OSつばさ)	(101,133)		
経費(OS南)	(12,050)		
経費(ろうきん)	(2,530)		
経費(共生圏)	(42,000)		
ソルポート㈱	(288,750)		
人事労務freee	(30,030)		
前 受 金	82,490,305		
正会員会費	(80,000)		
協力会員会費	(92,000)		
休眠預金2020	(7,239,410)		
休眠預金2021	(30,495,849)		
休眠預金2022	(44,583,046)		
短期借入金	34,000,000		
広銀3400万(R5.5~)	(34,000,000)		
預 り 金	498,574		
給与源泉税	(108,130)		
報酬源泉税	(25,013)		

財 産 目 録

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
全事業所【税込】(単位:円)
令和6年 3月31日 現在

雇用保険料	(365,431)	
未払法人税等	71,000	
未払消費税	912,300	
流動負債 計		131,814,486
【固定負債】		
長期借入金	3,380,000	
広銀カードローン(R4.12~No.3242661)	(2,160,000)	
広銀500万(R2.5~60回)	(1,220,000)	
固定負債 計		3,380,000
負債の部 合計		135,194,486
正味財産		14,517,384

財務諸表の注記

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

令和6年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
原価法による先出法
- (2). 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法
無形固定資産：定額法
- (3). 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業損益の明細は別紙に出力しています。

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位:円)

科目	期首帳簿価額	取得	減少	減価償却前 期末帳簿価額	当期減価償却額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	1,096,852	0	0	1,096,852	△ 136,789	960,063
建物附属設備	1,123,705	0	0	1,123,705	△ 81,180	1,042,525
什器 備品	5,570,337	1,367,369	0	6,937,706	△ 2,936,132	4,001,574
一括償却資産	638,792	0	0	638,792	△ 638,792	0
(無形固定資産)						
電話加入権	152,880	0	0	152,880	0	152,880
ソフトウェア	732,417	0	0	732,417	△ 187,000	545,417
(投資その他の資産)						
保証金	200,000	0	0	200,000	0	200,000
敷金	2,700,000	0	0	2,700,000	0	2,700,000
長期前払費用	495,000	0	0	495,000	0	495,000
合計	12,709,983	1,367,369	0	14,077,352	△ 3,979,893	10,097,459

【借入金を増減内訳】

[税込] (単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金 (広島銀行)	34,000,000	34,000,000	34,000,000	34,000,000
短期借入金 (広島銀行)	3,000,000	0	3,000,000	0
短期借入金 (広島銀行)	6,000,000	0	6,000,000	0
長期借入金 (広島銀行)	2,736,000	0	576,000	2,160,000
長期借入金 (広島銀行)	2,144,000	0	924,000	1,220,000
合計	47,880,000	34,000,000	44,500,000	37,380,000

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
代表理事 安藤周治・中村隆行 殿

監査報告書

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を実施した。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては、法令及び定款に違反する重大な事実はなく、令和5年度の特定非営利活動法人ひろしまNPOセンターの財産の状況は、NPO法人会計基準に準拠して財務諸表等に適正に表示されているものと認める。

以上

令和6年6月10日

監事 久宮 信雄 

監事 赤羽 克孝 

2023 年度

ひろしま NPO センター事業報告書

2024 年 6 月

特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

〒730-0031

広島市中区紙屋町 1 丁目 6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室

TEL : 082-258-1348 FAX : 082-258-1349